



## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 大幸薬品株式会社

コード番号 4574 URL <http://www.seirogan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柴田 高

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務本部長

(氏名) 吉川 友貞

TEL 06-6382-1135

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	3,654	△54.5	△519	—	△492	—	△923	—
22年3月期第3四半期	8,028	72.0	3,010	268.9	3,024	298.5	1,928	381.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	△72.06	—
22年3月期第3四半期	151.16	143.40

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	11,949		9,593		80.3		743.09	
22年3月期	13,929		10,613		76.2		832.08	

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 9,593百万円 22年3月期 10,613百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
23年3月期	—	0.00	—		
23年3月期 (予想)				5.00	5.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	4,312	△51.1	△1,853	—	△1,860	—	△2,256	—	△176.18	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、[添付資料]P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 12,910,800株 22年3月期 12,756,000株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 126株 22年3月期 115株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 12,815,066株 22年3月期3Q 12,756,000株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、平成23年2月8日付にて、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、P. 3「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(5) セグメント情報 .....	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部では緊急経済対策や好調なアジア経済等に支えられたものの、厳しい雇用・所得環境や欧州における信用不安の影響懸念に加え、急激な円高進行等もあり、依然、先行き不透明な状況の中で推移致しました。

この様な状況のもと、当社グループの連結経営成績は、以下の通りとなりました。

医薬品事業におきましては、大半を占める国内向け売上高が前年同期に比して減少したことに加え、海外向け売上高の落ち込みも影響したことから、医薬品事業全体の売上高は、前年同期を下回る結果となりました。

また、感染管理事業におきましても、新型インフルエンザ収束後の衛生管理製品に対する需要の低下に加え、流通在庫の増加により当社製品「クレベリン」シリーズの出荷も低調に推移したことから、新型インフルエンザ発生により飛躍的に伸長した前年同期に比し、同事業の売上高は著しく減少致しました。

これらにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は対前年同期比4,373百万円減(54.5%減)の3,654百万円と大幅に減少し、売上総利益は対前年同期比3,384百万円減(57.5%減)となる2,501百万円となりました。

一方、販売費及び一般管理費は、費用構造上、売上高の減少に必ずしも比例しないことに加え、感染管理事業に係る広告宣伝を下期に強化したこと等もあり、対前年同期比145百万円増(5.1%増)の3,021百万円となりました。

これらの結果、営業損益は、対前年同期比3,530百万円減となる519百万円の損失計上となり、経常損益は、対前年同期比3,516百万円減となる492百万円の損失計上となりました。また、投資有価証券評価損及び減損損失等の特別損失126百万円や、法人税等調整額299百万円の計上により、四半期純損益は、対前年同期比2,851百万円減となる923百万円の損失計上となりました。

セグメント別の業績につきましては以下の通りであります。

## (医薬品事業)

国内向けにつきましては、前年同期に比し、『セイロガン糖衣A』の売上高は同水準となった一方、『正露丸』が減少したことから、国内全体の売上高は前年同期を下回る結果となりました。

海外向けにつきましても、香港市場は前年同期を上回ったものの、中国本土及び台湾市場での落ち込みに加え、円高も影響したことから、海外全体の売上高は、前年同期に比して著しく減少致しました。中国本土での販売のためのライセンス更新に伴う一時的な出荷停止や、現地卸売事業者再編による販売代理店側の一時的な仕入計画見直し、また、台湾市場での販売代理店側の在庫調整による影響等が、その要因であります。

これらにより、当第3四半期連結累計期間の医薬品事業の売上高は、対前年同期比333百万円減(8.5%減)となる3,573百万円となりました。また、損益面につきましては、医薬品事業への費用配賦割合の増加(感染管理事業に比し、医薬品事業に係る営業部門の人件費割合等が増加)も影響し、対前年同期比418百万円減(22.2%減)となる1,463百万円のセグメント利益となりました。

## (感染管理事業)

上期(第2四半期連結累計期間)は、新型インフルエンザ収束後の出荷低迷に加え、卸売事業者や小売店等からの返品が出荷金額を上回ったことにより、感染管理事業はマイナスの売上高を計上致しました。一方、当第3四半期連結会計期間は、秋口以降の季節的な需要の高まりに向け、TVコマーシャル放映等による当社製品の広告宣伝を強化したこともあり、店頭での販売状況や当社の出荷にも一定の回復が見られました。これにより、当第3四半期連結累計期間の感染管理事業の売上高は、上期のマイナス売上高を吸収し、プラスには転じたものの、対前年同期比4,031百万円減(98.5%減)となる62百万円と、著しく減少致しました。損益面につきましても、生産数量低下に伴う固定費負担の増加の影響に加え、広告宣伝費の増加もあり、対前年同期比3,211百万円減となる865百万円のセグメント損失となりました。

## (その他事業)

その他事業につきましては、引続き、木酢液を配合した入浴液や園芸用木酢液等の製造販売を行いました。売上高は対前年同期比8百万円減(30.8%減)となる19百万円、セグメント損益は、売上高減少に加え、同事業に係る研究開発費の負担等もあり、対前年同期比25百万円減となる19百万円のセグメント損失となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 財政状態

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は11,949百万円(前連結会計年度末比1,979百万円減)となりました。また、負債合計は2,355百万円(同959百万円減)、純資産合計は9,593百万円(同1,020百万円減)となりました。前連結会計年度末からの資産、負債及び純資産の主な変動要因は、現金及び預金の減少等による流動資産1,698百万円の減少、法人税等の支払い等による流動負債944百万円の減少、また、四半期純損失や配当金の計上等による利益剰余金1,051百万円の減少であります。なお、自己資本比率は、前連結会計年度末から4.1ポイント上昇

し、80.3%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、現金及び現金同等物（以下、資金）が前連結会計年度末より2,316百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末残高は2,738百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は2,091百万円となりました。税金等調整前四半期純損失618百万円の計上に加え、売上債権の増加672百万円等による運転資本の増加や法人税等の支払額816百万円等の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は114百万円となりました。所有不動産売却に係る手付金等有形固定資産の売却による収入105百万円に対し、主に医薬品事業に係る設備投資による有形固定資産の取得による支出169百万円や定期預金の預入等の支出が上回ったものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は58百万円となりました。新株予約権の行使による株式の発行による収入80百万円に対し、配当金の支払額126百万円等の支出が上回ったものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の連結業績予想につきましては、平成22年11月11日に発表した予想値から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 会計基準等の改正に伴う変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。

② ①以外の変更

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,852,958	5,123,566
受取手形及び売掛金	1,999,655	1,331,090
商品及び製品	975,846	914,356
仕掛品	636,190	757,425
原材料及び貯蔵品	390,518	349,683
その他	246,005	320,218
貸倒引当金	△15,271	△11,516
流動資産合計	7,085,901	8,784,825
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,133,581	1,164,479
機械装置及び運搬具(純額)	212,313	245,829
土地	2,605,203	2,653,922
その他(純額)	239,497	153,992
有形固定資産合計	4,190,595	4,218,223
無形固定資産	70,830	84,585
投資その他の資産	601,950	841,556
固定資産合計	4,863,376	5,144,365
資産合計	11,949,278	13,929,190
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	287,555	801,518
未払法人税等	12,552	823,826
返品調整引当金	55,540	97,000
賞与引当金	66,883	157,357
その他	1,081,812	569,277
流動負債合計	1,504,344	2,448,980
固定負債		
退職給付引当金	238,088	228,734
役員退職慰労引当金	5,900	589,400
長期未払金	565,700	—
その他	41,498	48,128
固定負債合計	851,187	866,262
負債合計	2,355,531	3,315,243
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	136,441	96,271
資本剰余金	47,670	7,500
利益剰余金	9,517,495	10,568,567
自己株式	△204	△188
株主資本合計	9,701,403	10,672,150
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,308	△3,166
為替換算調整勘定	△110,964	△55,036
評価・換算差額等合計	△107,656	△58,202
純資産合計	9,593,747	10,613,947
負債純資産合計	11,949,278	13,929,190

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	8,028,807	3,654,950
売上原価	2,116,002	1,194,564
売上総利益	5,912,805	2,460,385
返品調整引当金戻入額	14,000	97,000
返品調整引当金繰入額	40,500	55,540
差引売上総利益	5,886,305	2,501,845
販売費及び一般管理費	2,876,124	3,021,668
営業利益又は営業損失(△)	3,010,181	△519,823
営業外収益		
受取利息	16,615	2,702
受取配当金	1,897	2,077
受取賃貸料	13,840	12,143
保険解約返戻金	—	63,605
その他	8,951	10,654
営業外収益合計	41,305	91,184
営業外費用		
売上割引	9,600	—
為替差損	16,733	57,047
その他	1,027	6,430
営業外費用合計	27,361	63,477
経常利益又は経常損失(△)	3,024,125	△492,116
特別損失		
固定資産除却損	3,227	1,698
減損損失	—	48,718
投資有価証券評価損	7,974	65,585
たな卸資産処分損	—	10,559
特別損失合計	11,202	126,562
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,012,923	△618,679
法人税、住民税及び事業税	1,177,776	5,666
法人税等調整額	△93,036	299,167
法人税等合計	1,084,740	304,834
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△923,513
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,928,182	△923,513

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,012,923	△618,679
減価償却費	149,819	175,941
減損損失	—	48,718
退職給付引当金の増減額(△は減少)	30,413	9,354
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	17,500	△17,800
返品調整引当金の増減額(△は減少)	26,500	△41,460
賞与引当金の増減額(△は減少)	△58,873	△90,276
貸倒引当金の増減額(△は減少)	11,577	3,818
受取利息及び受取配当金	△18,513	△4,780
固定資産除却損	3,227	1,698
投資有価証券評価損益(△は益)	7,974	65,585
たな卸資産処分損	—	10,559
為替差損益(△は益)	10,386	39,532
売上債権の増減額(△は増加)	△1,566,663	△672,839
たな卸資産の増減額(△は増加)	△513,480	3,016
仕入債務の増減額(△は減少)	136,781	△501,611
未払金の増減額(△は減少)	△44,756	391,865
その他	68,943	△80,919
小計	1,273,758	△1,278,273
利息及び配当金の受取額	18,717	3,296
法人税等の支払額	△321,387	△816,179
営業活動によるキャッシュ・フロー	971,088	△2,091,156
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△53,234	△322,374
定期預金の払戻による収入	63,894	268,651
有形固定資産の取得による支出	△163,221	△169,744
有形固定資産の売却による収入	—	105,000
無形固定資産の取得による支出	△33,301	△3,870
投資有価証券の取得による支出	△1,080	△810
その他	1,686	8,702
投資活動によるキャッシュ・フロー	△185,256	△114,445
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△8,018	△12,692
自己株式の取得による支出	—	△16
配当金の支払額	△21,260	△126,023
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	80,341
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,278	△58,391
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,996	△52,706
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	753,557	△2,316,700
現金及び現金同等物の期首残高	3,295,755	5,055,405
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,049,313	2,738,705



## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	医薬品事業 (千円)	感染管理事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,907,072	4,093,958	27,775	8,028,807	—	8,028,807
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,907,072	4,093,958	27,775	8,028,807	—	8,028,807
営業利益	1,881,880	2,345,111	5,828	4,232,819	(1,222,638)	3,010,181

## (注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

## 2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製商品
医薬品事業	胃腸薬「正露丸」、「セイロガン糖衣A」、「ラッパ整腸薬BF」
感染管理事業	二酸化塩素関連製品「クレベリン」、「リスパス」
その他事業	木酢関連製品

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (千円)	中国・香港 (千円)	台湾 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	7,342,192	593,443	93,171	8,028,807	—	8,028,807
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	435,405	528,153	—	963,558	(963,558)	—
計	7,777,597	1,121,596	93,171	8,992,365	(963,558)	8,028,807
営業利益（又は営業損失）	3,920,059	263,514	△2,286	4,181,287	(1,171,106)	3,010,181

(注) 国または地域は、地理的近接度により区分しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	中国・香港	台湾	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	593,443	93,171	24,507	711,121
II 連結売上高（千円）				8,028,807
III 連結売上高に占める海外売上 高の割合（%）	7.4	1.2	0.3	8.9

(注) 1. 国または地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国または地域の内訳は次の通りであります。

その他の地域・・・米国、カナダ、タイ、ベトナム、インドネシア、マレーシア、その他

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

## 〔セグメント情報〕

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品の系列別及び市場の類似性を考慮して、「医薬品事業」、「感染管理事業」及び「その他事業」を報告セグメントとしております。

「医薬品事業」は、胃腸薬「正露丸」、「セイロガン糖衣A」、「ラッパ整腸薬BF」等を販売しております。

「感染管理事業」は、衛生管理製品「クレベリン」、「リスパス」等を販売しております。「その他事業」は木酢関連製品を販売しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,573,457	62,264	19,227	3,654,950	—	3,654,950
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,573,457	62,264	19,227	3,654,950	—	3,654,950
セグメント利益又はセグメ ント損失 (△)	1,463,250	△865,907	△19,294	578,047	△1,097,871	△519,823

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額△1,097,871千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,097,871千円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## (追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。